

かくどうほいく ふなばし

2011年 市連協だより 2011年9月25日発行

船橋市学童保育連絡協議会 <http://homepage2.nifty.com/fghrk/>

「かくどうまつり」でたくさんあそんだよ！！

9月11日（日）船橋駅前天沼公園で「かくどうまつり」がおこなわれ、のべ700人の親子が楽しみました。今年小学校バザーの日程を避けるため、例年より1ヶ月以上早めの設定でした。当初残暑を心配しましたが、朝から雷の鳴る怪しい空模様。しかし、曇ったままなんとか雨も降らずに終了近くになって暑さが戻るというラッキーな天候でした（習志野方面は激しい雨が降ったそうで、参加に関して影響したかも…）。



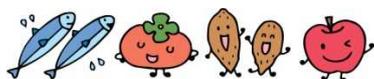
まつりの中央でドッチビー大会が開かれた

「紙飛行機」「ペットボトルボーリング」「輪投げ」「ストライクアウト」「コマ・ベーゴマ」「一円玉落とし」「ビュンビュンゴマ」「ペンシルパルーン」「ころころ亀さん」の9つの遊びコーナーはどこも盛況で、何度も挑戦する子どももいました。

ルーム指導員が企画した11時「ドッチビー大会」と13時「しっぽとり」の2回の全体ゲームでは、子どもたちが楽しそうに走ったり投げたりしていました。

今年の企画では当日までに3回の実行委員会をひらいて検討をすすめてきました。

実行委委員のみなさん。お疲れ様でした。



8月定例会の報告

8月28日（日曜日）、午前10時から中央公民館にて行われました。夏休み中で各父母会の運営が困難な時期にも関わらず、多数のご参加をいただきました。交流での主なご意見は次の通りです。（紙面の関係で一部しか紹介できず、申し訳ありません。）

[行田西]指導員の鼻血の処置が昔風で、現代の常識と逆。機会をとらえて研修をしてほしい。

[葛飾]工事中は校庭も狭く、2ルームが交代で使っている。不審者情報がルームに伝わるのが遅い。

[海神]夏休みはアンデルセン公園に遠足。子どもみこしや、縁日はゆかたで楽しんだ。

[習志野台合同]習志野台第一は校庭をサッカー部が使っているときは周縁部で遠慮して遊んでいる。

[法典西]、[宮本]からも出席がありました。市連協事務局からは、最新（8月1日現在）のルーム児童数一覧を配布しました。

次回の定例会： 10月30日（日） 10：00～ 中央公民館

テーマは後日ご案内いたします。



市からの回答が届きました

7月22日に提出した要望書に対して、市からの回答が届きました。残念ながら、満足いく回答は得られておりません。市の担当との話し合いも含め、今後も引き続き、要望を続けて行きます。

	2011 年度要望	回答
[1]	<p>日頃より放課後ルーム事業の推進については、かねてより特段のご配慮いただき心より御礼申し上げます。今後も放課後ルームは、公設公営で運営して頂くようお願いします。</p>	<p>今後も公設公営での放課後ルーム事業の運営をしていく方針です。</p>
[2]	<p>毎年ルームの増設を行って頂いている事に感謝しております。しかし残念ながら今年4月時点で船橋・宮本・若松・葛飾・小栗原・八栄・二和・法典・塚田・行田東・前原・飯山満・芝山東・習志野台第二・坪井の16ヶ所では、3年生以下で入所率100%を超えて全体では3年生以下でも32名の待機児童が出ました。また21ヶ所で定員が100%を超え4年生以上に72名の待機児童がいます。</p> <p>近年利用者数が頭打ちになっていると言う指摘もありますが一方保育園での待機児童数が大幅に増えているのも現状です。この事を踏まえて就業保証の面からも抜本的な対策が必要です。</p> <p>a) 放課後ルームの利用者増加は児童数の増加のみならず、就労人口の増加にあることを考慮し、厚労省が平成20年2月27日に発表した「新待機児童ゼロ作戦」に基づき10年間で現行の3倍の入所者になるよう大幅の予算増加をしてください。</p> <p>b) ルーム増設に際して予算上の問題は理解していますが、国に対しても施設の建設や運営に掛かる補助額の増加を要求して下さい。</p>	<p>a) 施設の整備については、今後の児童推移等を勘案しながら、増設計画を進めてまいります。</p> <p>b) 国の補助金等の充実については、機会を捉え要望してまいります。</p>
[3]	<p>大規模問題とは、一ヶ所に多くの子どもがいるため、指導員が活発な児童に気を取られ大人しい児童に目が届きにくくなり、安全な場所とは言えない上、子どもに寂しさや不安感を与えたりと深刻な問題となっており、それが理由でルームに行きたくないと言う児童は多くいます。</p> <p>中には、退所する児童も少なくありません。これでは保護者の就労が保障されません。</p> <p>国は、ガイドラインで「おおむね40名程度が望ましい」とし、最高でも70名以下にしています。また今年度からは、1ルームに71名以上在籍するルームには、国から補助金も減額されます。</p> <p>船橋市は補助金なしでも運営すると言っていますが、そもそも国はそういった大規模ルームは、学童保育としての要件を果たしていないことを示しているのです。</p> <p>近年増設を行ったルームでは適正人数となるよう配慮して頂いているのは理解していますが、既存のルームでも緊急避難的に簡易な方法でも分割して運営出来るよう早急に改善して下さい。</p>	<p>施設・設備の配置や構造上の問題等もあり、分割が難しいと思われるルームもありますが、引き続き分割運営を検討してまいります。</p>

<p>[4]</p>	<p>今年度、障がいをもった児童が待機になりました。障がいをもった児童が短時間であれ一人で留守番をすることは困難です。昨年も要望し改善に努めるという回答を頂きましたがどれも改善がなされていません。今年度こそ具体化して下さい。</p> <p>a)障がい児の入所条件は、保護者の就労条件に関わらず 6 年生まで優先的に入所出来る様にして下さい。</p> <p>b)障がいの程度に見合った指導員配置をおこなってください。(3:1 から 1:1 へ)</p> <p>c)トイレの改修、スロープの設置、休養できる別室の確保など、新設、増設するルームはもちろん、既存のルームについても施設改善をすすめてください。</p> <p>d)指導員に対し、障がい児にかかわる研修をさらに充実させてください。</p> <p>e)巡回指導員を増やす、学校との連携をとるなど、障がい児のためのフォロー体制を充実させてください。</p>	<p>a)放課後ルームは、保護者の監護が欠ける3年生までの児童を対象としておりますが、障がい児の場合は4年生以上であっても3年生までと同様の取り扱いとして受け入れしているところです。児童や保護者の置かれた状況が様々な中で、就労状況等を考慮せず障がい児を対象とした優先入所は考えておりません。</p> <p>b)障がいの程度による職員の加配については、入所前の体験入所時の観察員の意見を参考に配置しております。入所後におきましても、巡回指導員との協議により、必要があれば見直しも行ってまいります。</p> <p>c)新設・増設するルームでは、車イス対応のトイレや入口までのスロープの設置等、可能な限り設計に組み込んでおります。既存施設については、緊急性や施設の構造等の状況をよく確認して対応してまいります。</p> <p>d)今後も障がい児に関する研修は、内容を精査し実施してまいります。</p> <p>e)昨年度より巡回指導員を増員し指導体制の強化を図っております。</p> <p>また、学校とは必要に応じて情報交換等を行っており、今後も連携を図ってまいります。</p>
<p>[5]</p>	<p>毎年多くの指導員が退職し、施設は毎年増えていく中、指導員の不足した状態が慢性的に続いています。指導員の仕事は放課後児童クラブガイドラインに明記されているように放課後ルームにおいて子ども達の生活を支える大きな職務を担っています。子どもが「自分は守られている」と実感できること、「1年生の時から自分のことを分かっている」人(指導員)がいることが、子どもの安心感、信頼感につながります。これは放課後ルームにとって欠かせない条件です。そのためには、指導員が長く働き続けられる条件があり、系統的な研修を受け、子どもたちの成長記録をつけて子どもの成長を見直すことなどが大切なことです。また経験年数の少ない指導員や明らかに教育不足の指導員と保護者とのトラブルも多く、そのスキルの低下も深刻な問題です。子ども達の安全かつ安心した生活の保障と保護者が安心して働けるような場所としてさらい改善する必要があります。</p> <p>a)船橋市の非常勤職指導員は試験を受けて採用されています。昨年の回答も「市全体の非常勤職員との均衡を配慮し」とありましたが他の非常勤職員に採用試験はありません。そのため一般の非常勤職員とは明らかに異なるため、非常勤職指導員の待遇は別途制度化できると考えます。指導員が長く勤務できるように身分保障と待遇を早急に改善して下さい。</p> <p>b)船橋市の財政だけでは解決出来ないことも十分に承知しています。国でも指導員の定着率が悪いことを認識し対策の必要性があることも認めています。指導員の待遇改善のため、国に補助単価抜本的な見直しを要求して下さい。</p>	<p>a)指導員の待遇改善については、関係部課と協議し、市全体の職員との均衡を配慮しながら進めてまいります。</p> <p>b)国の補助金等の充実については、機会を捉え要望してまいります。</p>

<p>[6]</p>	<p>放課後児童クラブガイドラインの示す「指導員の役割」が未だ徹底されていません。また中にはガイドラインの存在すら知らない指導員もいます。一昨年の要望書の回答にもガイドラインを尊重し、関係職員に周知すると回答を頂きましたが如何でしょうか。特に保護者との対応・信頼関係の構築に至っては教育不足と言えます。放課後ルームの運営には、ガイドラインが示す「保護者への支援・連携」が重要です。広く教育・研修と情報交換が必要です。</p> <p>a) 放課後ルームの指導員は、専門性が高く要求されます。特に子どもへの関わり方や保護者への対応等のスキルが明らかに不足しています。市独自で行っている研修とは別に広く行われている指導員学校や研修の場にも積極的に参加させる為の賃金保障や費用の負担等を予算化して下さい。</p> <p>b) 児童ホーム単位での指導員同士が放課後ルームでの問題点等を話し合い、他のルームの運営状況等の情報交換出来る会議を年1回開催している様ですがもっと機会を増やし、様々のルームでの問題点や工夫点を共有して下さい。</p>	<p>a) 指導員の研修については、市独自の研修とは別に県主催の研修等にも参加しておりますが、今後も情報収集に努め、計画してまいります。</p> <p>b) ルーム間での情報交換については、毎月、各園長所管のルーム全体で実施するルーム会議や、市内を5ブロックに分けたブロック研修会で行われていると認識しております。この機会に指導員同士が十分な情報交換ができるよう各園長に申し伝えます。</p>
<p>[7]</p>	<p>「放課後児童クラブガイドライン」が示す「保護者会等(父母会)の活動についても積極的に支援、連携し、放課後児童クラブの運営を保護者と連携して進めるとともに、保護者自身が互いに協力して子育ての責任を果たせるような支援を行うこと。」を果たすためにも、定例でおこなわれているルーム主催の保護者会を充実させ、指導員と保護者が話し合える機会を充実させて下さい。</p> <p>保護者は家庭での様子を指導員はルームでの様子を互いに伝えあい、真剣に要望や提案を交換し、子どもたちの成長のために何が出来るかを学び合うことができる場として下さい。そうすれば保護者も指導員も、出席を負担に思うどころか出席して得をする場になるはずです。</p> <p>また現状では、保護者会を主導する指導員が、他のルームの保護者会でどんな工夫が行われているかを知ることができません。例えば指導員同士の交流や、勉強会などを通じて、保護者会の成功事例を共有できる仕組みにしてください。</p> <p>最近、市の指導で父母会活動に協力出来ないと言う園長や指導員が増えています。ガイドラインを重視すると言った貴職に於いて信じられない現象です。その理由を調査し、改善するようご指導願います。</p>	<p>父母会の設立については、就労されている保護者の負担も考慮して任意としておりますので、ご要望にありますような仕組みは考えておりませんが、保護者との関係づくりに努力してまいります。</p> <p>また、各ルームでの保護者会の開催については、できるだけ保護者の皆様が出席しやすい工夫しておりますが、指導員が他のルームの事例を共有することは有益と考えますので、ルーム会議や研修の題材として取り上げるよう各園長に申し伝えます。</p> <p>なお、父母会活動については、ルーム運営に支障がある場合の他は、特に児童育成課が指導していることはございません。父母会の加入については任意と考えておりますので、父母会自体の有無や保護者の加入の有無による公平性を欠くことのないよう配慮しながら対応してまいります。</p>

<p>[8] 3月11日に発生した大震災で船橋市も被災しました。特に帰宅難民となった保護者も多くいた上に通信機能が麻痺した結果、大混乱となりました。その中でも多くの指導員が混乱の中、自主的に子供達を安全に保護して下さいました。誠に感謝致します。しかしながら本来避難所となっている小学校の対応もバラバラで放課後ルームには何も配慮しなかった学校も多くあります。それでも今回は1日でほぼ解消出来ましたが東北地方の実情から今後起こりうる大災害では長期に渡っての対策が必要です。</p> <p>安全対策について昨年も多くの問題がありました。これを解決するためにも以下の事を実施して下さい</p> <p>。</p> <p>a) 今回の大震災の教訓を踏まえ災害時の対策マニュアル策定を早急に行ってください。またマニュアル策定時には、今回の様に各所で連絡が取れないことを前提として各学校職員・指導員・保護者でお互いの役割分担を明確にし、緊急時にそれぞれが協力し合える体制作りをして下さい。</p> <p>b) 昨年、携帯電話のメール機能が開始されました。今回の災害時でも通信機能の混乱による時間差はありましたが登録している保護者には子供達はルームで安全に保護されているのを知り安心しました。ただし、各ルームの状況が違うため本来はルーム毎発信が必要です。担当課と各ルームの連絡が出来なかった状況を踏まえて考慮願います。例えば今回の経験からメール機能は遅延してもインターネットの環境下では通信が出来ました。ツイッターやスカイプと言った機能を各ルームに整備する必要があります。過去、指導員による私的利用問題を言われた事がありますが監視する方法は幾らでもあるため理由とはなりません。設備に於いても現在は安価なものがあるので、大震災の経験を踏まえ早急に対応して下さい。</p> <p>c) 各ルームで指導員が指導員個人の携帯電話を使用してルームから離れた場所から連絡を取り合っている光景が見受けられます。安全面を考慮して携帯電話が必要な事は明白であり、各ルームに最低でも1台は携帯電話を支給して下さい。</p>	<p>a) 避難所の開設をはじめとする災害時の対応については、避難場所である小学校を中心に考えていく必要があります。市全体で防災体制の見直しに取り組む中で、防災課や教育委員会などと連携して対応してまいります。</p> <p>b, c) 昨年より実施しているメール配信システムについては、全ての方が登録できる環境にはないことから、緊急時には放課後ルーム指導員による電話連絡の補助的な役割として考えております。今後も、メール配信は児童育成課から行い、指導員による緊急時の連絡は電話にて行ってまいります。</p> <p>また、予算及び管理上の面から、インターネット環境整備及び携帯電話を各ルームに配置することは、困難と考えております。</p>
--	--

ホームページを見てみよう！！



表題に記載してあるサイトに接続してみてください♪

バックナンバーやご案内に他、質問コーナーやブログも用意しています。日々の育児に、父母会活動に、と役立てていただければと思います。

市連協（船橋市学童保育連絡協議会）は船橋市内の公営放課後ルームや民営学童保育の保護者・保護者 OB・指導員有志で構成する任意団体で、各父母会の活動をサポートしています。

市連協カレンダー（役員会・実行委員会は省略）

10月22日～23日 全国研究集会（石川県）

10月30日（日） 定例会 10：00～ 中央公民館